



感染症法に基づく医療措置協定に先立つ 事前調査の回答状況について

事前調査の実施状況等について

- 前回の協議会でお示した速報値から回答結果を精査し、確定値としてとりまとめを行いました。
- また、入院や発熱外来等の項目については、圏域別に整理を行うなど、補足的な情報についても併せてとりまとめました。
 - (1) 調査対象：病院、診療所、薬局、訪問看護事業所
 - (2) 調査項目：入院、発熱外来、自宅療養者等への医療提供、後方支援、医療人材の派遣、検査の実施能力、個人防護具の備蓄
 - (3) 実施期間：令和5年7月～8月

事前調査の実施状況

調査対象	医療機関数	回答医療機関数（回答率）
病院	93医療機関	93医療機関（100%）
診療所	1,513医療機関	869医療機関（57.4%）
うち新型コロナ対応可*	722医療機関	687医療機関（95.2%）
薬局	881医療機関	723医療機関（82.1%）
うち新型コロナ対応可*	505医療機関	494医療機関（97.8%）
訪問看護事業所	228医療機関	159医療機関（69.7%）
うち新型コロナ対応可*	89医療機関	87医療機関（97.8%）

*新型コロナウイルス感染症対応において、発熱外来や自宅療養者への医療提供にかかる県からのアンケートに対応可能と回答した医療機関等

対数値目標の取扱いについて

- 数値目標の達成状況については、今後、各医療機関等との個別に締結を行う医療措置協定に基づき判断を行うことになるため、**今回お示しする「対数値目標（達成率）」については参考値**となります。

事前調査の回答状況 (1) 入院 ①

流行初期

数値目標に係る考え方	発生の公表後 1 週間以内に新型コロナ発生約 1 年後（令和 2 年12月）の入院患者の規模に対応できる体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
228床	283床	+55床（124.1%）
（参考）うち重症者用病床 10床	30床	（対参考）+20床（300.0%）

流行初期以降

数値目標に係る考え方	発生の公表後 6 カ月以内に、新型コロナ対応で確保した最大値（令和 4 年12月）の体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
564床	575床	+11床（102.0%）
（参考）うち重症者用病床 50床	41床	（対参考）-9床（82.0%）

事前調査の回答状況 (1) 入院 ②

圏域別の病床数

二次医療圏	地域医療構想区域	流行初期		流行初期以降	
		医療機関数	病床数 (うち重症者用病床数)	医療機関数	病床数 (うち重症者用病床数)
北勢	桑員	2 医療機関	16床 (1床)	10医療機関	53床 (1床)
	三泗	4 医療機関	40床 (2床)	10医療機関	77床 (6床)
	鈴亀	2 医療機関	26床 (3床)	6 医療機関	51床 (3床)
		8 医療機関	82床 (6床)	26医療機関	181床 (10床)
中勢伊賀	津	4 医療機関	51床 (7床)	15医療機関	114床 (11床)
	伊賀	3 医療機関	30床 (4床)	4 医療機関	58床 (5床)
			7 医療機関	81床 (11床)	19医療機関
南勢志摩	松阪	3 医療機関	52床 (6床)	5医療機関	98床 (6床)
	伊勢志摩	3 医療機関	36床 (6床)	8医療機関	87床 (8床)
			6 医療機関	88床 (12床)	13医療機関
東紀州	東紀州	2 医療機関	32床 (1床)	4 医療機関	37床 (1床)
計		23医療機関	283床 (30床)	62医療機関	575床 (41床)

特別な配慮が必要な患者への対応が可能な医療機関数

妊産婦患者	8 医療機関 / 23医療機関	11医療機関 / 62医療機関
小児患者	12医療機関 / 23医療機関	13医療機関 / 62医療機関
透析患者	16医療機関 / 23医療機関	27医療機関 / 62医療機関
精神症状の悪化がある患者	3 医療機関 / 23医療機関	10医療機関 / 62医療機関

事前調査の回答状況 (2) 発熱外来 ①

流行初期

数値目標に係る考え方	発生の公表後1週間以内に、新型コロナ発生約1年後（令和2年12月）の外來患者の規模に対応できる体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
24医療機関	24医療機関	± 0 医療機関（100.0%）

流行初期以降

数値目標に係る考え方	発生の公表後遅くとも6か月以内に、新型コロナ対応で確保した最大値（令和4年12月）の体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
691医療機関	628医療機関	- 63医療機関（90.9%）

事前調査の回答状況 (2) 発熱外来 ②

圏域別の発熱外来数

二次医療圏		流行初期	流行初期以降
地域医療構想区域	医療機関数	医療機関数	
北勢	桑員	2 医療機関	61 医療機関
	三泗	4 医療機関	129 医療機関
	鈴亀	3 医療機関	91 医療機関
		9 医療機関	281 医療機関
中勢伊賀	津	4 医療機関	102 医療機関
	伊賀	3 医療機関	56 医療機関
		7 医療機関	158 医療機関
南勢志摩	松阪	3 医療機関	68 医療機関
	伊勢志摩	3 医療機関	89 医療機関
		6 医療機関	157 医療機関
東紀州	東紀州	2 医療機関	32 医療機関
計		24 医療機関	628 医療機関

対応可能な患者の範囲

かかりつけ患者以外	23 医療機関 / 24 医療機関	527 医療機関 / 628 医療機関
小児患者※	13 医療機関 / 24 医療機関	330 医療機関 / 628 医療機関

※小児患者への対応については、協定締結時において、対応可能な年齢まで記載することを想定。

事前調査の回答状況 (3) 自宅療養者等への医療の提供 ①

流行初期以降

数値目標に係る考え方	発生の公表後遅くとも6か月以内に、新型コロナ対応で確保した最大値（令和4年12月）の体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
1,020機関	1,092機関	+72機関（107.1%）
（参考）医療機関 454機関	381機関	（対参考）-73医療機関（83.9%）
（参考）薬局 485機関	591機関	（対参考）+106医療機関（121.9%）
（参考）訪問看護事業所 81機関	120機関	（対参考）+39医療機関（148.1%）

事前調査の回答状況 (3) 自宅療養者等への医療の提供 ②

圏域別の対応可能機関数

流行初期以降

二次医療圏	地域医療構想区域	医療機関	薬局	訪問看護事業所
北勢	桑員	40機関	69機関	13機関
	三泗	80機関	115機関	23機関
	鈴亀	60機関	88機関	12機関
		180機関	272機関	48機関
中勢伊賀	津	54機関	90機関	15機関
	伊賀	29機関	59機関	9機関
		83機関	149機関	24機関
南勢志摩	松阪	35機関	68機関	20機関
	伊勢志摩	62機関	76機関	21機関
		97機関	144機関	41機関
東紀州	東紀州	21機関	26機関	7機関
	計	381機関	591機関	120機関

高齢者施設等への対応が可能な機関数

うち高齢者施設への対応が可能

医療機関	218機関 / 381機関
薬局	507機関 / 591機関
訪問看護事業所	95機関 / 120機関

うち障がい者施設への対応が可能

医療機関	131機関 / 381機関
薬局	478機関 / 591機関
訪問看護事業所	69機関 / 120機関

事前調査の回答状況 (4) 後方支援 ①

流行初期以降

数値目標に係る考え方	後方支援については、第一種協定指定医療機関の負担軽減を目的に一般患者の受入れや回復患者の受入れを実施する医療機関と定義されていることから、「全病院－第一種協定指定医療機関数」とする。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
全病院から第一種協定指定医療機関を除いた値 (93病院－入院の協定締結を検討いただく62病院＝31医療機関)	26医療機関	－ 5 医療機関 (83.9%)

事前調査の回答状況 (4) 後方支援 ②

圏域別の後方支援医療機関数

流行初期

流行初期以降

二次医療圏	地域医療構想区域	医療機関数※	医療機関数※
北勢	桑員	8 医療機関	3 医療機関
	三泗	8 医療機関	3 医療機関
	鈴亀	7 医療機関	6 医療機関
		23医療機関	12医療機関
中勢伊賀	津	12医療機関	5 医療機関
	伊賀	3 医療機関	2 医療機関
		15医療機関	7 医療機関
南勢志摩	松阪	5 医療機関	5 医療機関
	伊勢志摩	6 医療機関	1 医療機関
		11医療機関	6 医療機関
東紀州	東紀州	2 医療機関	1 医療機関
計		51医療機関	26医療機関

※後方支援のみを担う医療機関数。流行初期・流行初期以降それぞれにおいて、入院の機能に加え、後方支援も担う医療機関数は含まれない。

事前調査の回答状況 (5) 医療人材の派遣

流行初期以降

数値目標に係る考え方	発生の公表後遅くとも6か月以内に、新型コロナ対応で確保した最大値（令和4年12月）の体制をめざす
------------	--

感染制御・業務継続支援チームに所属する医療従事者・感染管理専門家※

※感染制御・業務継続支援を必要とする高齢者施設や医療機関等に対し、派遣を行うことが可能な医療従事者等の人数

数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
20 機関 36人	28機関 81人	+ 8 機関 (140.0%) +45人 (225.0%)
(参考) うち医師 5人	15人	+10人 (300.0%)
うち県外派遣可能人数	7人	—
(参考) うち看護師 27人	44人	+17人 (163.0%)
うち県外派遣可能人数	17人	—
(参考) うちその他 4人	22人	+18人 (550.0%)
うち県外派遣可能人数	7人	—

他の医療機関や県（医療調整本部、臨時の医療施設）に医療従事者等を派遣可能な登録医療機関数

数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
5 機関	24機関※	—

※宿泊療養施設への人材派遣についても含む形で調査を実施したため、協定締結後に精査を行う。

事前調査の回答状況 (6) 検査

流行初期

数値目標に係る考え方	発生の公表後1か月以内に協定締結医療機関（発熱外来）における、1日の対応可能人数以上に対応できる体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
480件/日	1,930件/日 +a※ (保健環境研究所分120件/日を含む)	+1,450件/日 +a※ (402.1%+a)

(内訳：保健環境研究所120件/日、病院850件/日、民間検査会社960件/日+a※)

流行初期以降

数値目標に係る考え方	発生の公表後遅くとも6か月以内に協定締結医療機関（発熱外来）数に、新型コロナ対応のピーク時における1医療機関の1日あたりの平均検体採取人数を乗じた人数に対応できる体制をめざす。	
数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
5,095件/日	4,423件/日 +a※ (保健環境研究所分180件/日を含む)	-672件/日 +a※ (86.8%+a)

(内訳：保健環境研究所180件/日、病院1,384件/日、診療所1,059件/日、民間検査会社1,800件/日+a※)

※ (+aについて) 民間検査会社3社との定性的な協定締結を検討中

事前調査の回答状況 (7) 物資

数値目標に係る考え方	協定締結機関（病院・診療所・訪問看護事業所）の8割以上の施設が使用量2か月分以上のPPE※を備蓄することを数値目標とする。 ※サージカルマスク、N95マスク、アイソレーションガウン、フェイスシールド、非滅菌手袋の5物資。
------------	---

数値目標	回答状況	対数値目標（達成率）
（協定の締結を検討いただく協定締結機関786機関数）×0.8 = 629機関	316機関	- 313機関（50.2%）

その他参考値

	回答状況	対数値目標（達成率）
使用量1か月分のPPEを備蓄する機関数	436機関	—
5物資別の使用量2か月分を備蓄する機関数		
サージカルマスク	464機関	—
N95	494機関	—
アイソレーションガウン	543機関	—
フェイスシールド	525機関	—
非滅菌手袋	524機関	—
5物資別の使用量1か月分を備蓄する機関数		
サージカルマスク	575機関	—
N95	459機関	—
アイソレーションガウン	511機関	—
フェイスシールド	495機関	—
非滅菌手袋	482機関	—